

みんなの声

平成 18 年 9 月に、県土整備部に寄せられた県政提言への取り組み状況について掲載しました。

ご提言いただきありがとうございます。

みんなで創る” みんなの県土

これからも皆様の声を大切に、県土づくりを進めてまいります。

opinion/idea/proposal/recommendation

奥地産業道路が御神坂の土石流で寸断された。そこを通らずとも良い道路はいっぱいある。砂防ダムを上部に造るとダムとダムの間がマトリクス化して表面流が流れやすくなるかもしれない。そのような危険な道路は早急に開通せず、時間をかけて開通するべきではないか。

2006/9/11/ホームページ

網張温泉には、県内外から年間約 30 万人の観光客が訪れており、秋の紅葉シーズン等を控え、さらに観光客の増加が予想されています。

網張温泉に通じる当県道は、盛岡方面や滝沢方面から最短ルートとして利用されていると共に、定期バス路線であり、地域の観光を支える道路として重要な役割を果たしており、早期の全面開通を目指しています。

御神坂沢には不安定土砂が多量に堆積していますが、県道網張温泉線上の土砂撤去については終了し、平成 18 年 10 月 2 日午前 10 時から昼間の通行を再開しました。安全な通行を確保するため、当分の間午後 6 時から翌朝 8 時までの夜間を通行止とするとともに、沢の上流付近に雨量計を設置し、通行止基準値を越えた場合及び大雨洪水警報が発令された場合は昼間でも通行止とします。

なお、御神坂沢の土石流対策については盛岡森林管理署が行なうことになっています。盛岡森林管理署によれば、溪床の不安定土砂の固定、溪岸崩壊防止のた

めの山脚の固定、土石流発生時の流下エネルギーの減衰効果を見込んだ治山ダム群の整備を計画しているとのことです。

今後の復旧にあたっては、盛岡森林管理署と連絡調整を図りながら進めていきます。

opinion/idea/proposal/recommendation

除雪の予算について、岩手県の冬は厳しく除雪をきちんとする事も自殺の予防につながるのではないか。

2006/9/12/フリーダイヤル

除雪事業の予算確保については、県民の日常生活の安定や産業、医療及び消防等の活動を支えるため極めて重要と考えています。

県では、的確な降雪予測や情報に基づいて初期除雪の推進を図ると共に、市町村を始め地域住民等と連携し効率的な除雪を進めコスト縮減に努めています。

opinion/idea/proposal/recommendation

大船渡港に県内初の外貿コンテナ定期航路が開設されようとしている。

県の港湾ビジョンでは宮古、釜石両港に外貿コンテナ機能を配置する計画だが、県内に 2 つ以上の外貿コンテナ定期航路を開設することは、貨物の集荷争いで共倒れを招くことになりかねない。これからの港湾行政は「選択と集中」の視点で県内港湾の機能を特化し、他県港湾との競争力を高めていく必要がある。

従って、外貿コンテナ機能の整備は、今後、民間がクレーン購入を決断するなど地元の意欲が高く、宮古、釜石など他港に先行して航路開設への取り組みが進む大船渡港に集中するべきです。県内港湾をめぐる情勢変化に伴い、当然、港湾ビジョンも見直すべきです。

2006/9/19/電子メール

大船渡港に外貿コンテナ定期航路が開設される予定であることに関しては、民間でのクレーン購入など、これまでの地元の熱意と努力が高く評価されたものと考えており、県としても、可能な支援を行っているところです。

ご提言のあった外貿コンテナ機能の大船渡港への集中及び港湾ビジョンの見直しについては、港湾ビジョンが長い期間をかけて港湾関係者のコンセンサスを得て策定され、現在、大船渡港以外の他の港湾においても港湾ビジョンの実現に向けた取組みが行われており、現時点では、まだその時期には至っていないものと考えています。

opinion/idea/proposal/recommendation

花巻空港について、利用率が低迷しています。対策として県内発の泊りがけ団体客を増やすのはもちろんですが、以下のことを要望します。

- ・大阪線の割引運賃を航空会社に働きかける。
- ・札幌線のダイヤは悪いので、良くするよう働きかける。
- ・大阪線以外を利用する県内の個人旅行客を対象に、県や利用促進協議会が「航空運賃の助成制度」を創設して資金援助をする。

2006/9/19/電子メール

いわて花巻空港発着の路線に事前購入割引等の設定がないことや札幌線にいわて花巻空港午前発便がないことは、県でも利用促進を図る上での課題と認識しており、これまで利便性の高いダイヤへの改善や割引運賃の設定等について航空会社に対し要望を行っているところです。

なお、ご要望のあった航空運賃の助成については、運賃の設定が基本的に航空会社の航空輸送サービス提供の対価として考慮されるべきものであり、また、利用者数が膨大であり県が将来にわたる航空運賃の負担をしていくことは困難であると考えています。

県としては、今後ともいわて花巻空港の利便性の改善について航空会社に対して要請していくとともに、ツアー商品の情報発信等を通じて利用の啓発に努めていきます。

opinion/idea/proposal/recommendation

雫石町に木材加工工場が建設される事について、雫石町の決済を経て県に達達されたことを知りました。

私の家族は化学物質過敏症です。木材加工の際に使用される接着剤の主成分（ホルムアルデ

ヒド・フェノール）は、化学物質過敏症が最も強く反応する化学物質です。下記の理由により開発行為許可申請を不許可にしてほしい。

- ・工場から有害物質が流れてくる。苦痛を伴わず普通に呼吸出来なくなる可能性が高い。
- ・従業員や周辺住民の中に科学物質過敏症患者が増える可能性が高い。
- ・極微量の化学物質で体調を崩すため、農産物は自分の畑で作った有機農産物しか食べられない。化学物質による直接の作物の汚染など、安全な食糧自給が難しくなる可能性が高い。
- ・合板自体がシックハウス症候群の原因として問題になっている。訴訟が起きているケースもあり、雫石で生産された商品が新たな患者を生み出す可能性がある。

2006/9/19/知事ホームページ

都市計画法第33条第1項において、開発行為の許可は、同項各号に掲げる技術的基準に適合し、かつ、申請の手続きが同法又は同法に基づく命令の規定に違反していないときは、許可をしなければならないものと規定されています。

本件についても、同法の規定に基づき、適正に処理すべきものと考えていますのでご理解願います。

opinion/idea/proposal/recommendation

- ・いわて花巻—福岡線の搭乗率はどのくらいか。
- ・いわて花巻—福岡線の搭乗率を上げるために毎日運航とし、代わりに使用機材を50席のCRJ200にしてみようか。
- ・岩手県内で「バーゲンフェア」などの割引運賃や航空機+ホテルの安価なパック商品について知られていないと思われるので積極的にPRすべきである。

2006/9/19/電子メール

(1) 福岡線の搭乗率について

いわて花巻—福岡線の搭乗率は、平成17年度実績で54.4%となっています。

(2) 福岡線のデイリー運航と小型化について

いわて花巻—福岡線は現在週3便の曜日運航となっており、利便性向上を図るため運航便数の増加について航空会社に継続的に要望しています。

なお、路線・便において使用する機材については、運航による収支や機材繰りなどを考慮して航空会社が判断するものと考えますが、いわて花巻―福岡線は路線の特性として観光等での利用が多いものと認識しており、小型化については団体旅客に対応する輸送力も考慮のうえ慎重に検討すべきものと考えます。

(3) 割引運賃やパック商品の周知について

航空会社の各種割引制度や、いわて花巻空港発着パック商品の情報につきましては、ご指摘のとおり岩手県内での一層の普及が必要と考えており、官民で組織する岩手県空港利用促進協議会において総合ダイヤ表への掲載、リーフレットの配布やホームページへの掲載などにより周知を図っていますが、これから一層のPRに努めていきます。

opinion/idea/proposal/recommendation

県営住宅の風呂釜について、県営住宅に風呂釜がついていないところがある。県営住宅入居者は低所得者が多いので、風呂釜を用意するのは大変である。県営住宅に風呂釜を設置すべきではないか。

2006/9/21/フリーダイヤル

従前、県営住宅には浴槽が設置されておらず、入居される方に設置をお願いしてきたところですが、平成6年度以降は、建替や大規模修繕等を期に順次整備を進めています。

県としては、県営住宅の浴槽については、建替や大規模修繕時期等を考慮し、引き続き県が設置していくこととしています。

御不便をおかけしますが、御理解願います。

opinion/idea/proposal/recommendation

国や地方自治体の案件は、業界関係で設定された全国一律の資材や工事単価によって積算されているのでコスト競争を促すものとはなっていない。

また、多くの予算を獲得し使い切る事が重要視されている。コストダウンが達成したら、余った予算を他の工事に使用して、新たな雇用機会や資材の需要を喚起すれば地域経済に好影響

を与えてくれるのではないか。コストダウン達成を評価するシステムはないのか。それぞれの地方自治体が独自の方式を研究し、実行に移される必要があると思う。

2006/9/21/知事ホームページ

工事等の予定価格は、毎年、実勢価格調査等を行って設定した設計単価を用い、標準的な施工を想定して定められた積算基準により算出され、実際の工事は競争入札等により、この予定価格より安価な価格で落札した業者が受注することとなります。

また、岩手県では適正な予算執行に努めており、公共工事のコスト縮減対策にも平成9年度から取り組んでいます。平成18年度からは平成16年度の標準的な技術・工法等により算定した場合の工事費に対して、新技術・新工法等により工事費を縮減し、平成22年度の縮減率の目標を15%とする「公共工事コスト縮減対策岩手県第3次行動計画」に取り組み、毎年度の縮減率を公表することとしています。

opinion/idea/proposal/recommendation

岩手県のホームページ「いわての残したい景観」には、小岩井農場に関連する景観が多くある。小岩井農場周辺は天の川を見る事が出来る貴重な場所で、誰もが素直に感じる魅力があるが、その小岩井農場の隣に合板工場建設の話を知った。これが実現すれば「いわての残したい景観」の何件かは取り下げられるし、空気の透明度が低下し、天の川を見る事が出来なくなるのではないか。岩手や雫石の自然や景観の価値に気づく人々は確実に増えていて、与えられた価値を活かす事が、行政、自治の精神だと思う。

合板工場建設の許認可については、岩手の魅力が何かを慎重に考え、賢明な判断をしてほしい。

2006/9/26/知事ホームページ

都市計画法第33条第1項において、開発行為の許可は、同項各号に掲げる技術的基準に適合し、かつ、申請の手続きが同法又は同法に基づく命令の規定に違反していないときは、許可をしなければならないものと規定されています。

本件についても、同法の規定に基づき、適正に処理すべきものと考えていますので、ご理解願います。